



令和3年8月27日

武蔵野赤十字病院  
院長 泉 並木 殿

重症者用病床、中等症者用病床の増床及び抗体カクテル療法病床の  
設置に関する要望書

武蔵野市長 松下 玲子

武蔵野市医師会会長 田原 順雄



平素より本市政に対して格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
コロナ禍における貴院の献身的な医療活動に対して、改めて敬意と感謝  
を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染者数が全国的に急拡大する中、本市の  
陽性判明者は令和3年8月22日時点の累計で2,588人となり、人口10万  
人当たりの陽性判明者数は多摩26市において最も多い状況です。

一方、東京都内の医療提供体制については、8月20日第59回の東京都  
のモニタリング会議において「新規陽性者数が現状のまま継続するだけで  
も、医療提供体制の限界を超え、救える命が救えない事態となる。」との警  
鐘が鳴らされており、比較的軽症状が軽いとされる方の重症化を防ぐ対策が、  
医療提供体制を確保するための喫緊の大きな課題の1つと認識しております。

このような状況の中、比較的軽症状が軽いとされる方の重症化を防ぐ対策  
として、7月19日に新型コロナウイルス感染症の軽症や中等症の患者を  
対象とする国内初の治療薬、中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」  
が特例承認され、抗体カクテル療法が開始されました。

これらの状況をふまえ、武蔵野市と武蔵野市医師会は、急拡大する自宅  
療養者支援を地域医療介護連携により拡充する取り組みを進めることで  
合意いたしました。つきましては、市内の感染状況を踏まえ、地域医療連  
携を強化する観点から貴院に対して下記の事項を要望いたします。

#### 記

- 1 自宅療養者の急性増悪に対応するため、重症者用病床及び中等症者用  
病床の増床をお願いしたい。
- 2 抗体カクテル療法病床を設置していただきたい。